

# 富山大橋の 秘密を探る旅

富山大橋の歴史のお話  
*Toyama Ohashi Bridge History*



平成27年3月



# 富山大橋の 秘密を探る旅

この写真は、富山市内を流れる神通川にかかる富山大橋です。

旧と新の橋が並ぶ貴重な写真です。

旧の橋は役目を終え、平成24年(2012)3月に新しい橋にバトンタッチして、平成27年(2015)3月に取りはらわれたので、現在は写真でしか見ることはできません。

これから、みなさんに富山大橋が歩んできた歴史をごしょうかいします。

右でしょうかいする大橋 新くんとハッピーくんが

昔にもどって、いろいろガイドをお手伝いしてくれます。

## 《目次》

- 《その1》 富山大橋の前身を知ろう  
～富山大橋ができたわけ～ → 4 ページ
- 《その2》 旧富山大橋を知ろう  
～これまでの富山大橋はこんな橋だった～ → 10 ページ
- 《その3》 新しい富山大橋を知ろう  
～新しくなった富山大橋はここがスゴイ～ → 18 ページ
- 《その4》 記念イベントを行いました  
～富山大橋架替記念事業について～ → 20 ページ
- 《その5》 地元のみなさんの思い出  
～富山大橋の思い出～ → 22 ページ

新しい富山大橋



## あらすじ

ある日、ひとりの少年が完成したばかりの富山大橋のポケットパークで遊んでいたときに、ケガをしたカッパを発見。手当てをしたお礼に、カッパの秘密トンネルをくぐって昔の神通川を案内してくれました。

その昔、富山大橋や神通川はどんな様子だったのだろうか。この本は富山大橋の歴史をひもときながら、いろんな発見をしていく物語です。



## 《キャスト》

左／**大橋 新** (おおはし あらた)  
ごくふつうの富山市内の小学5年生の男子。ある日、ケガをしていたカッパを助けたら、そのお礼に1日だけタイムマシンで昔の神通川をいっしょに旅することができるようになった。

右／**ハツシー** (神通川にすむカッパ)  
江戸時代ごろから神通川で暮らし、富山大橋の歴史にも詳しい。秘密のトンネルをくぐって過去と現在を行き来している。





# 《その1》 富山大橋の前身を知ろう

～富山大橋ができたわけ～

まず始めに、富山大橋ができたわけについてお話しします。

かつて神通川は、<sup>とやまじょう</sup>富山城の北側を流れていました。

<sup>しょうか</sup>富山城下を通る<sup>ほくりかいどう</sup>北陸街道は、<sup>とやまじょう</sup>富山城の西側で神通川を南北にわたっていました。

ここに舟を並べた「<sup>ふなはし</sup>船橋」という変わった橋がありました。

## 江戸時代の富山の様子



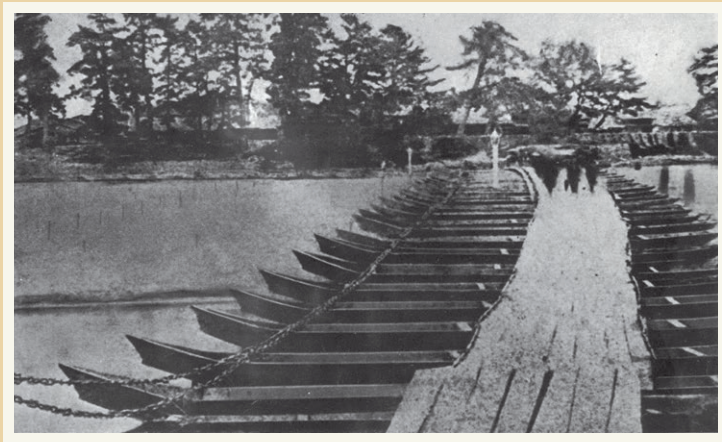
※「船橋」を「舟橋」と表記しているものもあります。



ブック  
マーク

## 「船橋」とは？

神通川には、<sup>ふね</sup>舟をならべてくさりでつなぎ、  
<sup>なら</sup>その上に板を並べた橋がかけられていました。  
全国的に有名だった<sup>ふなはし</sup>船橋です。



明治初年の神通川の船橋『写真集 富山県100年』より(北日本新聞社提供)

舟の上に、<sup>しやくすん</sup>はば1尺2寸以上(約36cm)、  
<sup>あつすん</sup>厚さ3寸(約9cm)の板を7枚並べた橋だよ。

舟の橋なので絵にかかれたように、川の流れにおさ  
<sup>めいじてんのう</sup>れて曲がっていたんだ。明治天皇も渡られたよ。



なんだかグラグラ  
ゆれて、こわそう。



もっと知ろう!

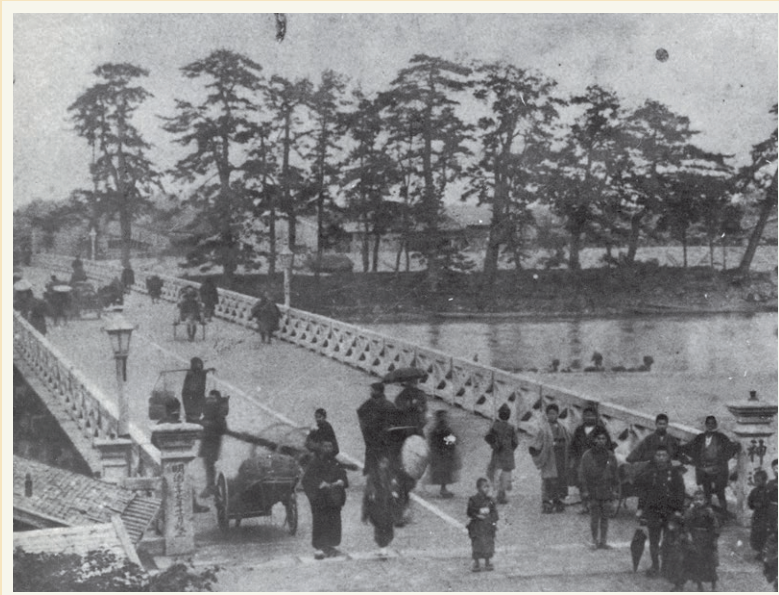
越中富山を代表する風景として多くの  
絵にえがかれ、全国的にも有名でした。



『神通川船橋の図』松浦守美(株式会社源所蔵)

## 1 船の橋から木の橋へ

明治15年(1882)に<sup>ふなはし</sup>船橋は木橋にかけかえ  
られ、橋の名前も神通橋と名付けられました。



船橋にかわる神通橋『写真集 富山県100年』より(北日本新聞社提供)  
明治28年(1895)ごろ(故西田康之助氏所蔵)

神通橋は木でできた橋だよ。神通川

で最初にかかった本格的な橋だったよ。

長さ127間(約230m)、はば4間(約7.2m)

という大きさなんだ。



もっと知ろう!

かつて神通橋がかけられてい  
た場所は、<sup>げんざい</sup>現在このような橋  
がかけられています。名前は  
<sup>ふなはし</sup>「舟橋」にもどりました。

長さ 18m はば 15m





## 2 水害をへらすため、まっすぐな水路をつくる工事をしました

神通川は、大きく曲がって流れていたの、大雨のたびに水があふれ人々を苦しめていました。

そこで、水害を減らそうと、明治34年(1901)に**馳越線**というまっすぐな水路をつくる工事が始まりました。水路をつくる案はオランダ人技師のヨハネス・デ・レーケが立てたものでした。

この工事では、はば2m、深さ1.5mの細い水路を作り、洪水のたびに水の流れを利用して土砂をけずり、少しずつ川はばを広げていく方法がとられたんだ。神通川の水は次第に馳越線を流れるようになり、やがて馳越線が本流とっていったんだ。



## 3 神通大橋でつなぎました

明治36年(1903)に馳越線工事が完成しました。

しかし、馳越線によって多くの人が行きかう**国道**がとぎれてしまいました。そこで、兩岸を結ぶためにつけられたのが**神通大橋**なのです。馳越線によってへだてられてしまった**あたご 愛宕**と**こふく 五福**の地域も、これで行き来ができるようになったのです。



『富山工事事務所六十年史』より

あたご 五福へえっ、愛宕と五福は陸続きだったんだ。



### もっと知ろう!

神通大橋は木でできた橋でした。現在の神通大橋はこのような姿です。

長さ 228間(約410m)	→	長さ 425.8m
はば 3.33間(約6m)		はば 6m





## 4 神通新大橋(富山大橋の前身)を掛けました

明治41年(1908)に、陸軍歩兵連隊の駐とん地が今の富山大学(五福キャンパス)の場所に設置されました。

そこで、歩兵連隊と富山市街地をつなぐ新しい道路を作り、神通川には新しい橋をかけることになりました。この新しい橋が、富山大橋の前身にあたります。



陸軍歩兵連隊 今の富山大学(五福キャンパス)の場所にありました  
 『置県百年 富山県』より



新しい橋は、明治42年(1909)に完成しました。6年前に馳越線工事と同時にかけられた神通大橋に対して、「神通新大橋」と名付けられました。



『ふるさとの思い出写真集 明治大正昭和 富山』より

人々からは連隊橋と呼ばれ親しまれてたよ。大正5年(1916)には、この橋を渡って呉羽山のふもとまで路面電車が走り始めたんだよ。



もっと知ろう!  
 神通新大橋は木でできた橋でした。  
 長さ 238間(約430m)  
 はば 3.3間(約6m)





ちょっと、ややこしいので  
これまでのおさらいをするよ。



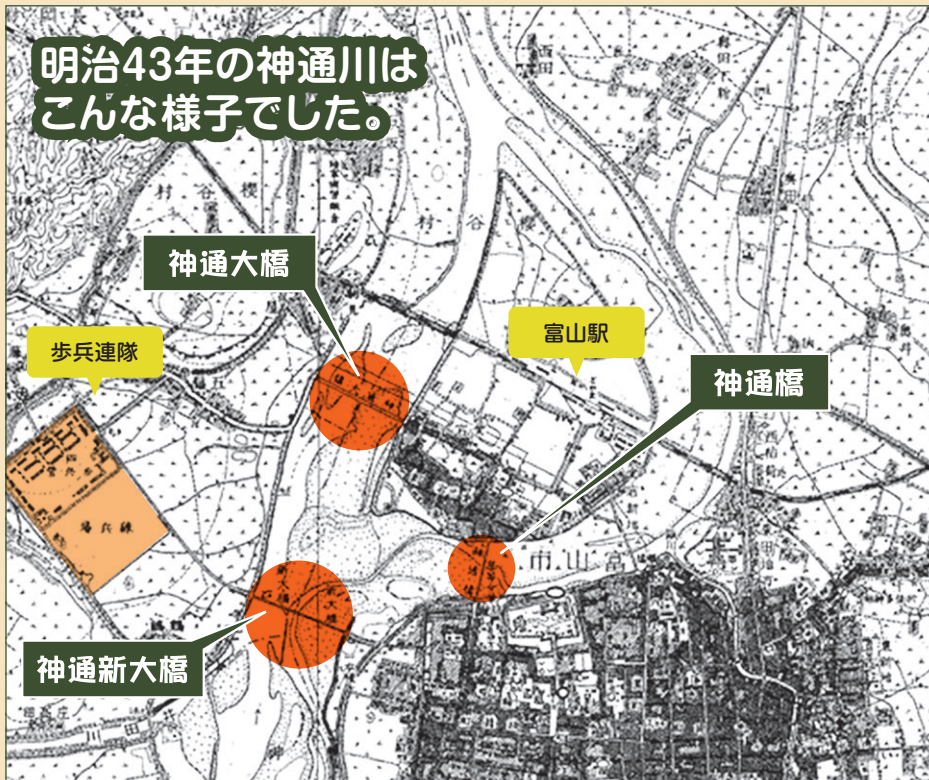
平成19年 国土地理院撮影



今の県庁とか放送局も  
昔の神通川の  
流れの中だ。



明治43年の神通川は  
こんな様子でした。



明治43年 陸地測量部測量



曲がった川は**大正時代**に  
てい防でしめ切られるまで  
あったんだよ。



ブック  
マーク

## 神通川の うめ立て工事

はせこせせん  
馳越線工事の後、神通川の流は、2つ  
に分かれて流れていました。しかし、だん  
だんと曲がった方には流れなくなり、ほと  
んどの水がまっすぐな馳越線に流れるよう  
になっていきました。そこで、曲がった方  
の川をうめ立てることになり、昭和10年  
(1935)に工事が完成しました。こうして、  
神通川は**げんざい**現在のよう形になったのです。



《その2》

# きゅう 旧富山大橋を知ろう

～これまでの富山大橋はこんな橋だった～

次に旧富山大橋のお話をします。

明治や大正にかけられた橋の多くは木でできていましたが、  
昭和に入ると鉄やコンクリートでできたじょうぶな橋に  
かけかえる改良事業が始まりました。



大正ごろの神通新大橋

路面電車が通る  
たびにギシギシと  
音が聞こえそう。

木なのに  
長い間よく重たいものを  
支えてきたね。

# 1 神通新大橋(富山大橋の前身)のかけかえ

明治42年(1909)にかけられた神通新大橋(富山大橋の前身)も古くなってきたのでかけかえることになりました。しかし、かけかえまでにはいろいろな問題がありました。



工事が始まってからも、いろいろな問題がおこり、とてもむずかしい工事になりました。

**明治42年**  
(1909)

神通新大橋(富山大橋の前身)完成

**昭和3年**  
(1928)

県会(現在の県議会)で神通新大橋をかけかえることを決定するが、**不景気**や**戦争**の時代でお金が足りなくなり、いったん**中止**となりました。

**昭和7年**  
(1932)

あらためて県会でかけかえ工事を行うことを決定

**昭和8年**  
(1933)

富山県土木課の技師、**小池啓吉**さんが設計しました。  
(東京で関東大震災の復興事業にたずさわった橋の専門家)

**昭和9年**  
(1934)

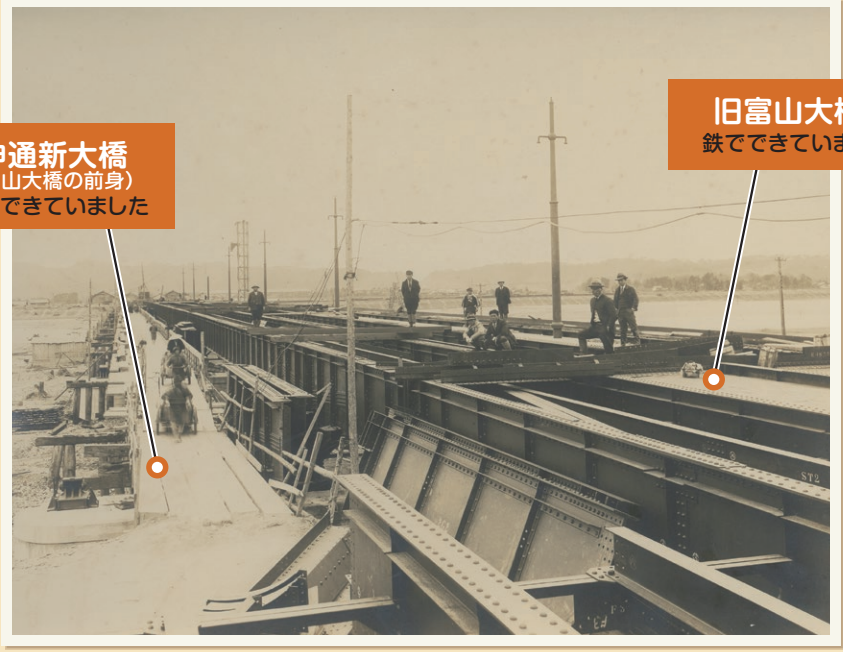
3月、工事開始

**工事中**

- 昭和9年7月に、神通川で**大洪水**が発生しました。
- 新しい橋の土台をしずめているとき、**古い橋の杭**にぶつかってやり直しをしました。

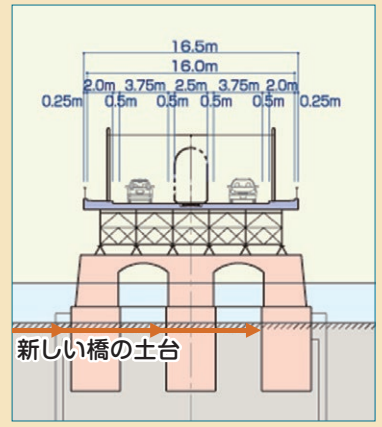


古い橋に人を通しながら、すぐ下流側に新しい橋を作りました。



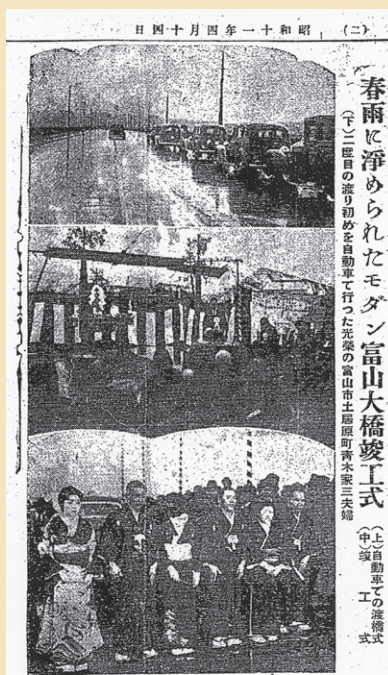
**神通新大橋**  
(富山大橋の前身)  
木でできていました

**旧富山大橋**  
鉄でできています





## ② いろいろな試練を乗り越えて旧富山大橋が完成



いろいろな<sup>こんなん</sup>困難がありました。昭和11年(1936)4月、ついに新しい橋が完成し、「**富山大橋**」と名付けられました。

当時の新聞で「**文化の懸け橋、モダン富山の豪華橋**」とたたえられました。神通川を一直線にわたる<sup>こうてつ</sup>鋼鉄の橋に、人々はさぞ目を見張ったことでしょう。

### 昭和11年(1936)4月13日、富山大橋が開通しました。

<sup>ふうふ</sup>三夫婦(親・子・孫、三世代の夫婦)による<sup>わたり初め</sup>わたり初めが行われました。

今でも新しい橋が完成すると、三世代の<sup>ふうふ</sup>夫婦がそろった一家により、わたり初めを行う風習があります。

富山日報(北日本新聞社の前身)より転載(北日本新聞社提供)

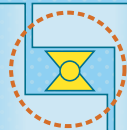


### 3 旧富山大橋の特徴 とく ちょう



🔍 もっと知ろう!

ゲルバーヒンジとよばれる橋のつなぎ目が特徴です。



旧富山大橋は鉄とコンクリートでできた橋で、これまでの木とちがってがんじょうだよ。長さ472.4m、はば16mとガッシリした姿なんだ。



80年ほど前にできたんだね、ボクのおじいちゃんが生まれたころだ。

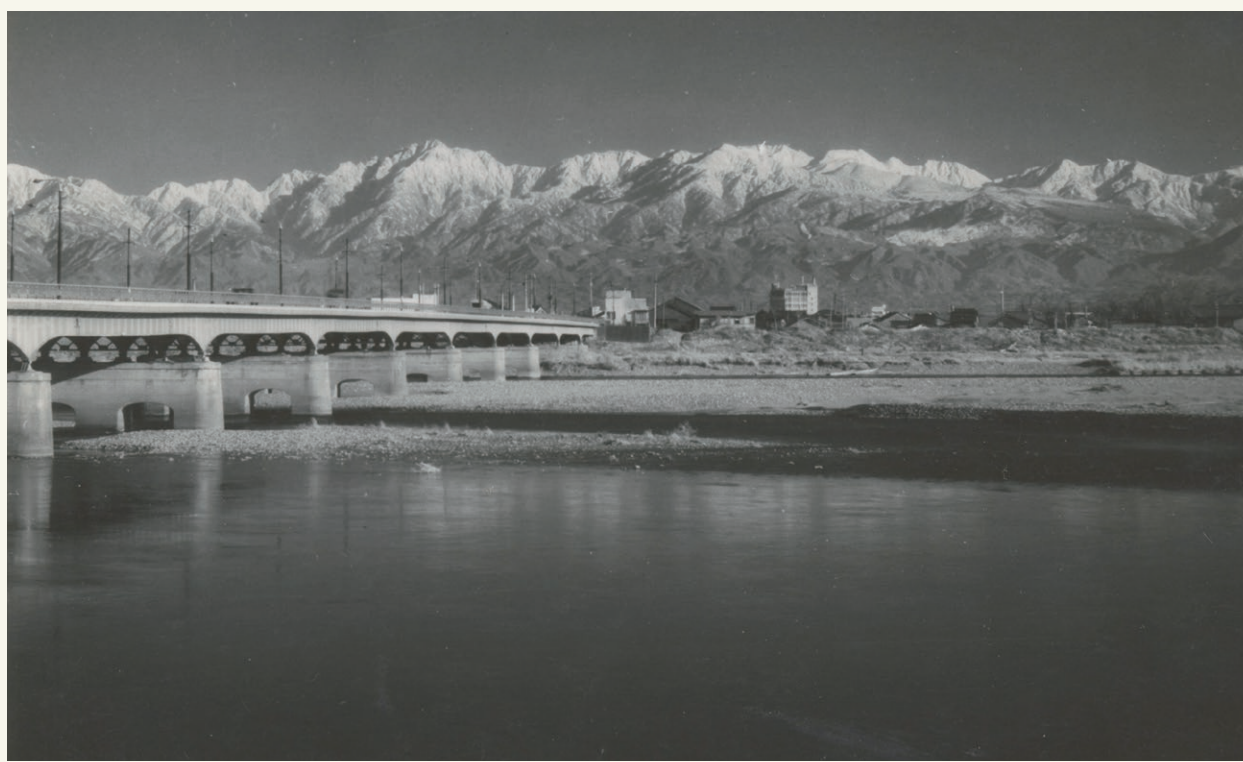




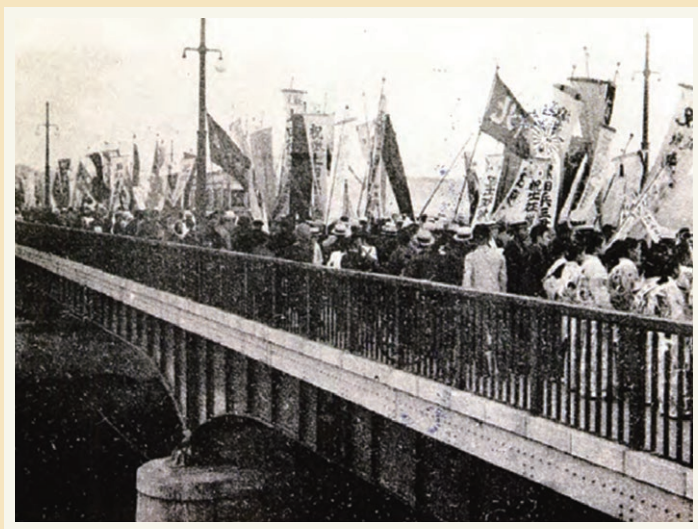
## 4 <sup>きゅう</sup>旧富山大橋のアレコレ

旧富山大橋は、昭和11年(1936)に完成してから、富山県の発展ととも<sup>はってん</sup>に歩み、広く県民に親しまれてきました。ここで旧富山大橋にまつわるいくつかの出来事を写真でごしょうかいします。

<sup>くうしゅう</sup>富山大空襲にも生き残りました。



昭和30年ごろの富山大橋



戦争に向かう兵士の見送り  
(「ふるさとの想い出写真集 明治大正昭和 富山」より)

戦争中は国の命令で<sup>きんぞく</sup>金属が集められたので、橋の手すりの鉄は木にかえられました。



昭和21年ごろ  
(「写真でつづる富山地方鉄道50年の歩み」より)

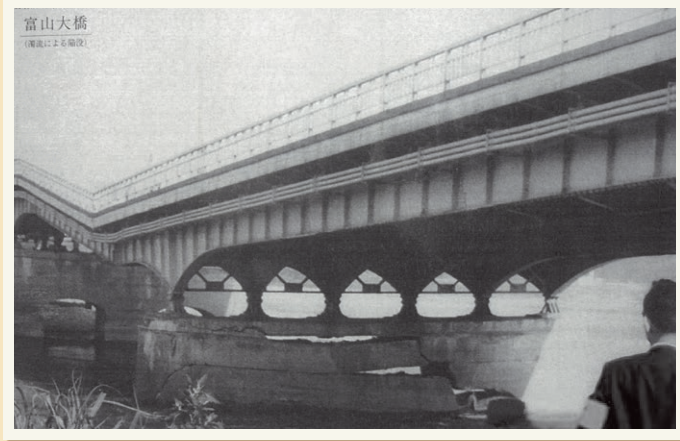
時代の流れとともに、  
いろんなことが  
あったんだね。



《その2》 旧富山大橋を知ろう  
~これまでの富山大橋はこんな橋だった~

昭和44年(1969)7月、  
大雨により橋の一部が約3mしずみました。

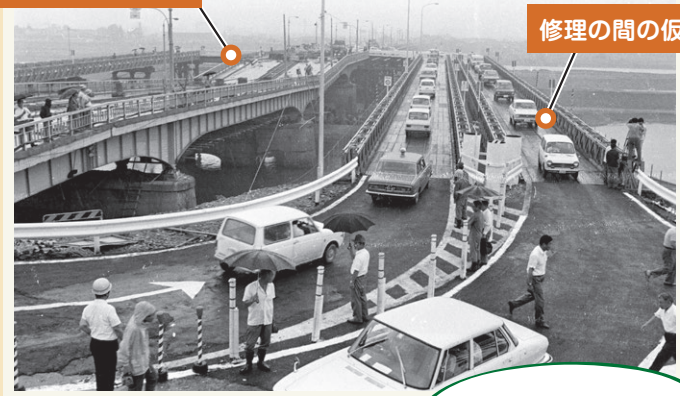
こぶく  
五福側から3番目の橋の土台がしずんでこわれました。



富山大橋の上流では  
昭和22年(1947)から毎年8月1日に  
神通川花火大会が行われています。



こわれた旧富山大橋



修理の間の仮橋

富山大橋沈下 車道完成 (富山新聞社提供)

なんと1年後には完全に  
復旧したんだよ。



2年前の昭和20年(1945)8月1日の夜中から、  
富山市は空襲を受けて多くの人が傷つき命を落  
としました。この花火大会は空襲により命を落と  
された方々の鎮魂と、平和への願いを込めて始  
まったものです。

平成5年から橋をライトアップしました。





## 5 70歳を過ぎた<sup>きゅう</sup>旧富山大橋のかけがえ

旧富山大橋は、完成してから70年以上にわたり県民に親しまれてきました。その間、修理をくり返しながらんばってきましたが、古くなってきたことや橋を通る車が大きくなってきたことなどから、再び<sup>ふたた</sup>かけかえられることになりました。

橋だって年をとると、いろいろいたんでくるんだね。

安全のために、なんどもぬりかえたり補修したりしていたんだよ。



昭和58～59年度

● 橋のぬりかえ工事

昭和61～62年度

● 橋の部品などの<sup>ほしゅう</sup>補修工事

平成3～4年度

● 橋の部品などの<sup>ほしゅう</sup>補修工事

● 橋のぬりかえ工事

● <sup>じ しん たい さ く</sup>地震対策工事

平成7年度

● 橋を支える土台の<sup>ほしゅう</sup>補修工事

平成16～18年度

● 橋の部品などの<sup>ほしゅう</sup>補修工事

新しい橋<sup>げんざい</sup>(現在の富山大橋)にバトンタッチ





【その2】 旧富山大橋を知ろう  
~これまでの富山大橋はこんな橋だった~



平成24年12月 鉄の部分(橋げた)を取りはらう

かけがえの様子を  
しょうがいするよ。



平成25年1月 旧橋を取りはらっているとき神通新大橋の  
木杭を発見



平成25年2月 旧富山大橋の中央部を取りはらう



平成25年11月 神通川をしめ切り、旧橋の左岸側を取りはらう



平成25年12月 橋の土台(コンクリート)を取りはらう



平成26年1月 たくさんの機械で橋の土台を取りはらう



平成26年3月 旧橋の左岸側をすべて取りはらう



# 《その3》 新しい富山大橋を知ろう

~新しくなった富山大橋はここがスゴイ~

新しい富山大橋は、平成18年(2006)から  
橋の土台の工事にかかり、平成24年3月に完成しました。

旧富山大橋の歴史を受けつぎ、橋を利用する人にやさしく、周りの環境にも  
合うような橋に生まれ変わりました。美しい立山連峰と調和するとともに、  
旧富山大橋のおもかげを残した橋の姿をしています。



新しい富山大橋はもちろん鉄とコン  
クリートでできているんだ。長さ466m、  
はば30.5mと旧富山大橋に比べて、はばが  
約2倍も広くなったから、路面電車も複線に  
して、すれちがえるようになったよ。



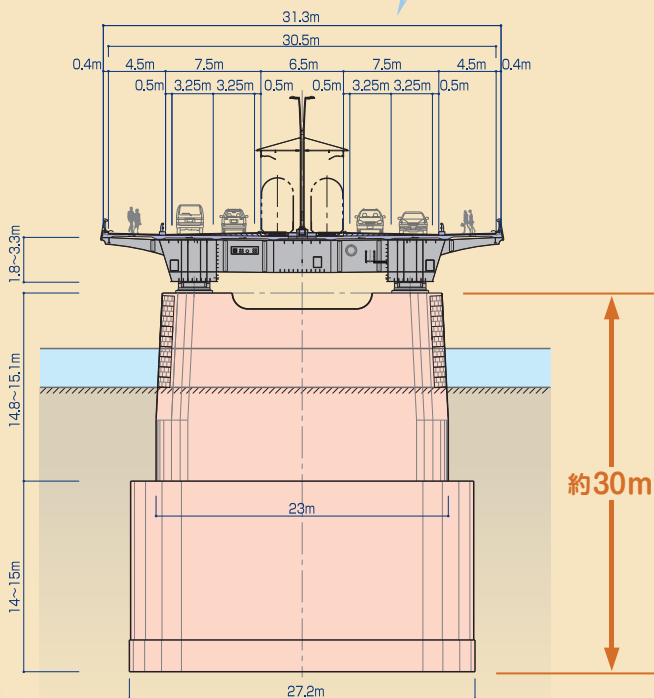
## 🔍 新しい富山大橋の特徴



休んだり川をながめたりすることができるバルコニー  
を作りました。

だんめんず  
橋の断面図

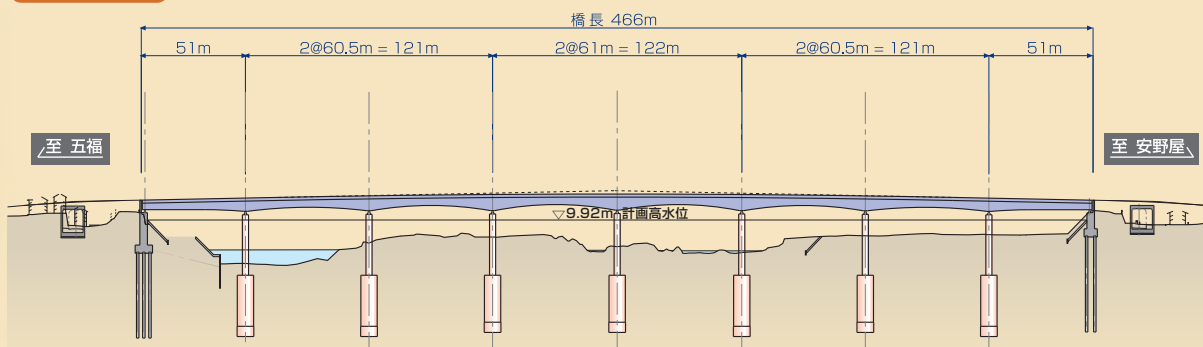
🔍 車道や歩道を広げました。  
11ページの図とくらべてみよう



橋を支える土台は、  
高さ約30mあって8階建ての  
ビルと同じ高さなんだよ。



そくめんず  
橋の側面図



ガラス玉は、上流側が山を  
表す緑色で下流側が海を表す  
青色です。夜には照明灯の光が  
あたってきれいだよ。



景色がよく見えるように、路面電車の電柱と照明灯の柱を一つにまとめたセンターポールとしました。



橋のさくにはめこまれたガラスパネルには、小学生のみなさんが作ったガラス玉を取りつけてあります。



# 《その4》記念イベントを行いました

～富山大橋架替記念事業について～

役目を終えた旧富山大橋は、70年以上にわたり広く県民に親しまれてきました。

このため、富山県では、新しい富山大橋をおひろめし門出を祝うとともに、旧富山大橋の記録や記憶を残す記念イベントを行いました。

記念ウォーキング  
平成23年4月29日



フォトコンテスト  
平成23年7月～12月



工事中の新しい富山大橋  
の上でお絵書き大会  
平成23年6月4日



とやま橋の日(現場見学)  
平成23年8月4日





**小学生勉強会**  
平成18年～23年

橋といっしょに成長することを目的に6年間続けて勉強会を行いました  
(五福小学校・芝園小学校・富大附属小学校にて)



平成18年10月(1年生)  
大型スクリーンで説明



平成19年12月(2年生)  
橋脚(きょうきゃく)の模型(もけい)を使って説明



平成20年12月(3年生)  
模型(もけい)を使って説明



平成21年7月(4年生)  
橋げたの送り出し方法を勉強



平成22年7月(5年生)  
橋げたを歩きながら説明



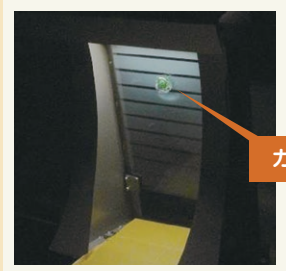
平成23年7月(6年生)  
ガラス玉を作る



**新しい富山大橋の開通式**  
平成24年3月24日



**絵画コンクール**  
平成23年7月～9月



ガラス玉



ガラスパネル

**旧富山大橋のわたり納め**  
平成24年8月26日



**旧富山大橋からの花火観覧**  
平成24年8月1日





## 《その5》 地元のみなさんの思い出 ～富山大橋の思い出～

地元のみなさんの  
きゅう 旧富山大橋にまつわる思い出  
をしょうかいたします。



### きゅう 「旧富山大橋の思い出」

私は昭和10年10月に現在の地所（安野屋町2丁目）<sup>げんざい</sup>に生まれましたが、その半年後の昭和11年4月に旧富山大橋が完成しました。

その頃、現在の富山大学校舎の敷地には、陸軍の富山歩兵連隊があって、多くの若者達がこの橋を渡って入隊し、また、戦地へと送られて、二度とこの橋を渡る事のない兵士もたくさんありました。

また、昭和18年、19年頃には鉄製品が不足し、橋の欄干も鉄製から木製に取り替えられました。そして、それは戦後もしばらく続いていました。

また、昭和20年8月1日夜半～2日にかけての富山大空襲では大橋の下へ逃げ込んで命拾いした人たちもあつたと聞いております。

その後、交通量の増加や車両の大型化等による負担が大きくなり、昭和44年7月に五福側から2番目の橋脚が沈下して、通行止めとなり東西の交通は大変混乱しました。

安野屋地区自治振興会長 谷 信弘

また、その頃は上流の有沢橋や下流の神通大橋は木橋の部分もあつて、大型車の行き違いには大変手間取る橋となっていたので、2橋を一方通行としてなんとかしのいでいました。

今回完成した新しい富山大橋は、五福方面行きも富山市街地方面行きも、車道及び軌道も全て2車線または複線となり、さらに歩道幅員も前橋の2倍位と大変安全なものになりました。

このような県内唯一の立派な橋のたもとで育ち、大人から老人になった私にとって富山大橋は唯一の憩いの場所となっています。

朝には橋詰めで立山連峰からの日の出を眺め元気になり、夕方には赤く染まった呉羽山を拝み、今日一日の幸せに感謝の気持ちをささげる場所として、これからも大切なスポットとして活用してゆきたいと思っています。

### きゅう 「旧富山大橋の思い出」

高校生の頃、木の欄干の大橋を渡り学校へ通つた。橋から見る剣、立山は雄大で美しい。この山に魅せられて山岳部で立山、剣、白馬岳など踏破した。

夏はサクラマスがゆうゆうと泳ぐ神通川で鮎やウグ

鶴島連合町内会会長 多賀 文男

イを捕まえて遊んだ。そんな中、橋上から観光バスが転落した悲しい事もあつた。

旧富山大橋は自然の思い出がいっぱいだ。





さあ、富山大橋について  
最後のおさらいをしよう。



### 神通新大橋 (富山大橋の前身)

明治42年(1909)～昭和11年(1936)

明治41年(1908)に神通川西岸に配置された陸軍歩兵連隊と市街地を結ぶ道路とあわせてかけられました。神通新大橋と命名され、人々からは「連隊橋」と呼ばれ親しまれました。

『富山工事事務所六十年史』より



### 旧富山大橋 昭和11年(1936)～平成24年(2012)

昭和に入ると、これまでの木でできた橋を鉄やコンクリートでできたじょうぶな橋にかけかえる改良事業が始まりました。

富山大橋は、不景気などのえいきょうにより計画が延期されながらも昭和11年4月、「モダン富山の豪華橋」にかけかえられました。戦前は連隊橋として人々に親しまれていました。



### 新しい富山大橋 平成24年(2012)3月～

平成に入り、旧富山大橋が通る県道富山高岡線は、富山市と高岡市を結ぶ重要な道路として、1日あたりの自動車交通量は約3万台にのぼり、日常的に交通じゅうたいが発生しました。また、昭和11年(1936)の完成から70年以上し、古い橋となったことから、かけかえられることになりました。

新しい富山大橋は、車道や歩道のはばを広げ、路面電車も複線にして人や車や電車が快適に通れるようにしています。

また、旧富山大橋のおもかげを残した姿とし、立山連峰などの周りの景色が良く見えるようにすっきりとした橋としました。

### 3つの橋の比較

橋の名前	長さ	はば	径間※の数	径間の長さ(最大)
神通新大橋 (富山大橋の前身)	432.7m	6m	34	12.72m
旧富山大橋 (初代)	472.4m	16m	13	39m
新しい富山大橋 (2代目)	466m	30.5m	8	61m

※径間(けいかん)とは、橋を下から支える柱の間隔(かんかく)のことです。

### あとがき

富山大橋は、旧橋の歴史を受けつぎ、利用者にやさしく、景観にも配慮した橋に生まれ変わりました。

新しい富山大橋の開通により、安全で円滑な交通が確保されるとともに、富山市中心部のより一層の活性化が図られることが期待されます。

新しい富山大橋の歴史はこれから始まります。新しい富山大橋が旧富山大橋のように、みなさんの生活とともに歴史を刻んでいくことを願っています。

### 富山大橋の秘密を探る旅

発行日 平成27年7月11日

発行者 富山県土木部都市計画課  
〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号  
TEL076-444-3345 FAX076-444-4421  
県ホームページ [http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1506/](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1506/)

監修 白井芳樹(元富山県土木部長)、浦畑奈津子(富山市郷土博物館学芸員)  
編集協力印刷 相互企画印刷株式会社

参考文献・写真提供(順不同)

『写真集 富山県100年』北日本新聞社  
『富山工事事務所六十年史』建設省富山工事事務所  
『置県百年 富山県』北日本新聞社  
『ふるさとの思い出写真集 明治大正昭和 富山』八尾正治編 図書刊行会  
『写真でつづる富山地方鉄道50年の歩み』富山地方鉄道  
『昭和初期の富山都市圏における土木事業と三人の土木技師』白井芳樹氏学位論文  
『とやま土木物語』白井芳樹著 富山新聞社  
『富山市郷土博物館 博物館だより』第45号、第47号、第49号  
<http://www.city.toyama.toyama.jp/etc/muse/tayori/index.html>



